

# 複合柵「シシ垣くん」によるイノシシ・シカ被害対策

## ～智頭町上市場地区の事例～

### 1 取組経緯

智頭町上市場地区（60戸うち農家11戸）では、イノシシによる被害が10年程前から発生し、深刻な被害となっていた。加えて近年はシカによって冬期にも花き、白菜、キャベツへの食害が発生していた。さらに、集落から離れた耕作地ではクマによるカキやクリの被害が発生しており、その対策も必要となっていた。既存の対策としては、電気柵を設置しているが十分な効果が得られていない状況であり、効果的な防止対策が必要となっていた。

### 2 取組内容

- (1) これまでの被害場所、対策状況について現地調査を実施した（平成19年4月：地元、町、県）。
- (2) 設置する柵の種類について検討した（5月）。
- (3) 複合柵「シシ垣くん」（猪・鹿タイプ）を試験設置して対策を練った（6月上旬）。
- (4) 地元、町、県の合計17名で柵の共同施工を実施した（6月下旬：総延長600m）。
- (5) 設置後に防止効果を確認した（8月）。



▲イノシシ・シカ侵入防止柵を試験的に組み立て



▲共同作業で侵入防止柵を設置（県事業活用）

### 3 取組効果

- (1) 柵設置後にイノシシ、シカの被害は認められなくなり、高い効果が実証された。
- (2) 地元で工夫して改善点を見つけて、自主的な活動が始まってきた。
- (3) 県内外から視察、周辺地域から問い合わせがあるなど、周辺地域の関心が高まった。